

“大”奮闘した1学期



駐車場脇にひっそりと咲いていた
可憐なひめりんごの花

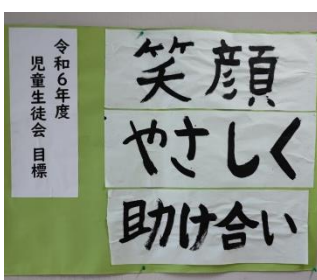
4月に始業式、入学式を迎えてからはや4か月近くたちました。梅雨の合間に夏の日差しが照り付けています。学校はまもなく夏休みを迎えようとしています。子どもたちも夏休みへの期待からでしょうか、どこか表情も明るく、声が弾んでいるように感じられます。

振り返ってみると、始業式・入学式に始まり、今年も学部ごとの開催ではありましたが、その分たくさん体を動かしハッスルした運動会・体育祭、保護者から離れて知らない土地に行き、少し緊張しつつも楽しい体験をした宿泊学習に修学旅行、働くことの厳しさや楽しさ、そして責任や自己管理の大切さを学んだ校内・現場実習など、通常の授業はもちろんですが、大きな行事も目白押しでした。しかし何事にも臆せずチャレンジし、そのたびに一回り成長して、自信をつけてきているようです。

ただ、何事も順風満帆にいくわけもなく、時には失敗してがっかりしたり、友達とぶつかり、悩み、時にはぶつかりあったりもします。自分の思いを出し合ったり、反省して謝ったりなど、紆余曲折、試行錯誤の中で自分の思いや相手の思いに気付き、言動に変容がみられることもあります。この過程は時間がかかりますが、大事にしたいと思いますし、それこそが教育の場における集団生活の意義でもあると考えています。一方で、互いにアイデアを出し合い、一緒にやり遂げたことで力を合わせる楽しさや一体感も味わっていました。一人ではなかなかできない経験を積み重ねた1学期でもありました。保護者の方からも、「これまで見られない一面が見られて、頼もしく感じました」という声もいただいております、うれしく思っています。

もちろんこれは学校だけでは到底できることではありません。心の揺れ動きを丁寧に受け止め、協力してくださる保護者の皆様、そして学校を支えてくださる様々な関係機関の皆様の力があってこそだと思います。いつもありがとうございます。

今年の本校の研究テーマは「学びたい気持ちを高め、夢中で取り組む姿を目指した授業づくり」です。受け身で、ただ形だけ立派に話を聞くのではなく、なるべく自分で考え選択し意思表示する姿、目をキラキラさせて、学習や活動に率先して取り組む姿を目指したいと思っています。そして何よりも、学ぶこと、成長することの楽しさを実感し、「自分はこんなことができる」「以前より自分は成長している」と自分に自信や期待をもって生きていけるようにと願っています。それが自分の足で歩いていく原動力になるのではないのでしょうか。これは普段の生活の中も含めて、様々なものに興味をもち、積極的に関わってみる、知ろうとする、生活を楽しむことにもつながることでしょう。ぜひ大事にしたいものです。



さて、学校は7月23日から夏休みに入ります。暑い夏になりそうですが、健康で、事故なく、充実した毎日でありますように。8月26日に元気な子どもたちの笑顔に会えるのを楽しみにしています。